

# SPDR(スパイダー)ETF：革新を続ける20年の軌跡

SPDR® S&P 500® ETF (銘柄コード、NYSE: SPY、東証：1557)は、後に改称されますが、当初スタンダード・アンド・ブアーズ預託証券と呼ばれ、1993年1月に米国初の上場投資信託(ETF)として設定されました。SPDR S&P 500 ETFの取引が開始された時代は、ガソリン価格が1ガロンあたり約1ドル、インターネットはまだ夢物語の時代でした。

その後20年の間に、ガソリンは1ガロンあたり約4ドルまで値上がりしましたが、SPDR S&P 500 ETFも劇的な成長を見せました。インターネットと急速な技術の進歩は、私たちの生活を根底から変えました。今日1,230億ドルの運用資産残高を有し米国のETF資産全体の9%を占める規模に成長したSPDR S&P 500 ETFは、世界最大かつ世界で最も活発に取引され

ているETFです。<sup>1</sup>

たった1本のSPDR S&P 500 ETFから始まったこの業界は、過去20年の間に大きく成長しました。伝統的な株式や債券、新興市場、コモディティや通貨などオルタナティブ資産に至るまで、ありとあらゆるアセットクラスを対象として、今や5,000本を超えるETFが世界中で提供されています。<sup>2</sup>そして現在もETF市場の拡大は続いています。米国だけをとっても、過去6年間連続で年間1,000億ドルを超える正味の新規資金がETF市場に流れ込んでいます。<sup>3</sup>

以下の年表では、SPDR S&P 500 ETF、そしてETF業界の発展の歴史を振り返ります。

## ETFの歴史—その20年

1993年1月29日	スタンダード・アンド・ブアーズ預託証券、後のSPDR S&P 500が米国初のETFとして設定される。	2007年12月	全米経済研究所(NBER)によると世界的不況の始まり。翌年、信用危機が世界中に拡大。
1995年3月24日	S&P500指数が500ポイントを超え(500.97) <sup>4</sup> 、SPDR S&P 500 ETFの資産残高は4億6,100万ドルとなる。 <sup>5</sup>	2008年3月	初のアクティブ運用型ETFが登場。
1995年4月	米国で2番目のETF、SPDRミッドキャップ400®ETF(MDY)がデビュー。今日では1,000億ドルを超える資産残高に成長。 <sup>6</sup>	2008年11月20日	S&P500指数が1997年以降最低となる引け値752.44を記録。 <sup>13</sup> 翌日には多少戻したものの年間下落率は45.5%に達し、1931年以降で最大の下げ幅となった。 <sup>14</sup>
1996年3月	ETF市場に競合商品(海外株式ETF)が初めて現れる。	2009年9月20日	NBERによれば、米国の景気後退が終了。
1998年2月2日	S&P500指数が1,000ポイントの大台に乗る(1,001.27)。 <sup>7</sup>	2010年5月	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが初の海外社債ETFを設定。
1998年2月28日	SPDR S&P 500 ETFの残高は59億ドルに。 <sup>8</sup>	2010年12月1日	米国連邦準備制度理事会(FRB)の量的緩和策(QE)によりS&P500指数は急回復し1,206.07で引けた。 <sup>15</sup> SPDR S&P 500 ETFの資産残高は2010年11月末の790億ドルから同年12月末には900億ドルまで拡大。 <sup>16</sup>
1998年12月	セレクト・セクター SPDRが設定される。9本からなる新ETFシリーズは、S&P500指数を構成する9つの株式サブセクターに連動し、ETFの新たなステージを切り開く先駆けとなった。	2010年12月16日	米国ETF市場の資産残高が1兆ドルを記録。 <sup>17</sup>
2000年4月	ドットコム・バブルの崩壊。SPDR S&P 500 ETFの残高は170億ドルに減少したが、2ヶ月後には早くも220億ドルまで回復し、混乱期におけるSPDR S&P 500 ETFの強さを示す。 <sup>9</sup>	2011年3月24日	東日本大震災の影響残る中で、SPDR S&P 500 ETFが東京証券取引所に重複上場、銘柄コードは1557。
2000年12月	多数のETFが新規設定される。米国で1年間に90本の新規ファンドが設定。 <sup>10</sup>	2011年8月5日	S&Pが米国債を格下げ。株式市場は下落し、SPDR S&P 500 ETFは当初設定以来の5,017日間でわずか2日間だけとはいえ、資産残高がSPDRゴールド・シェアに次いで2番目となる。 <sup>18</sup>
2001年9月11日	テロリストが世界貿易センタービルと国防総省ビル(ペンタゴン)を攻撃。2001年9月10日から17日までニューヨーク証券取引所が閉鎖される。保険会社の損失額は史上最多の600億ドルに。 <sup>11</sup>	2012年6月30日	モーニングスター社の推定によると、ETFを50%以上保有するETF運用ポートフォリオは合計で500億ドルに及び、1年間で48%も増加したとのこと。 <sup>19</sup>
2004年11月	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが初のコモディティETF、SPDRゴールド・シェアを設定。	2012年10月	米国ETF市場の資産残高が1兆3,000億ドルに。ステート・ストリートを始め、iSharesやバンガードなど数十社のETFプロバイダーが1,445本のETFを市場に提供。資金流入も技術革新も留まるところを知らない勢い。 <sup>20</sup>
2006年6月	上場投資証券(ETN)の登場。同年ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、初の地域別新興市場、グローバル・インフラストラクチャ、および海外債券ETFを設定。	2012年12月	SPDR S&P 500 ETFの資産残高が1,230億ドルを超え記録を更新。 <sup>21</sup>
2007年10月9日	S&P500指数が市場最高値を更新(1,565.15)、SPDR S&P 500 ETFの資産残高は9,820億ドルに。 <sup>12</sup>		

### SPDR® ETFについて

SPDR ETFはステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが提供するETFブランドで、投資家の皆様にそれぞれの投資戦略と正確に適合した投資対象を選択する柔軟性を提供しています。業界のバイオニアとみなされているステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、1993年に最初のETFとなるSPDR S&P 500®を設定し、現在世界最大のETF<sup>22</sup>となっています。現在、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは世界中で約3,040億米ドルのETF資産を運用しています。<sup>23</sup>当社のETFや投資方法に関する詳細な情報につきましては、以下にご連絡ください。

電話:03-4530-7152

メール:etf\_japan@ssga.com

### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー39階 Tel: 03-4530-7152

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第345号

加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

\*1,\*2,\*4,\*7,\*12,\*13,\*14,\*15,\*16,\*18,\*21 アーカビジョン、ブルームバーグL.P.、SSgA、2012年12月31日現在。

<sup>3</sup> <http://online.wsj.com/article/SB10000872396390443635404578036591453055634.html>

<sup>5</sup> アーカビジョン、ブルームバーグL.P.、SSgA、1995年3月31日現在。

<sup>6</sup> [http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top\\_Ten\\_Fin\\_Events\\_Decade.htm](http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top_Ten_Fin_Events_Decade.htm)

<sup>8</sup> アーカビジョン、ブルームバーグL.P.、SSgA、1998年2月28日現在。

<sup>9</sup> [http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top\\_Ten\\_Fin\\_Events\\_Decade.htm](http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top_Ten_Fin_Events_Decade.htm); アーカビジョン、ブルームバーグL.P.、SSgA、2012年12月31日現在。

<sup>10</sup> <http://etfmarketwatch.com/abbreviated-history-of-etfs/>

<sup>11</sup> [http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top\\_Ten\\_Fin\\_Events\\_Decade.htm](http://bizfinance.about.com/od/currentevents/tp/Top_Ten_Fin_Events_Decade.htm)

<sup>17,\*20</sup> ブルームバーグ L.P.、SSgA.、2012年12月31日現在

<sup>19</sup> [http://online.wsj.com/article/SB10000872396390443635404578036591453055634.html?KEYWORDS=etfs#project%3DEFdata1022\\_pg%26articleTabs%3Dinteractive](http://online.wsj.com/article/SB10000872396390443635404578036591453055634.html?KEYWORDS=etfs#project%3DEFdata1022_pg%26articleTabs%3Dinteractive)

<sup>22</sup> ブルームバーグ、2012年6月31日現在

<sup>23</sup> 2012年6月31日現在。この運用資産残高には、ステート・ストリート・グローバル・マーケットズLLCが販売会社として役務を提供するSPDRゴールドトラスト(2012年6月31日現在で凡そ657億米ドル)の資産を含みます。

### 本資料は、情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが作成したものをステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が和訳したものです。内容については原文が優先されることをご了承ください。本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、弊社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。本資料内の意見は全て当社の判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。

### <投資にかかるリスクについて>

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、また金などのコモディティ等に投資を行います。投資対象としている株式等の値動きにより、当ファンドの基準価額が下落することがあります。有価証券への投資には、価格変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク等、様々なリスクがあり、ETFも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により、投資資産の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となる場合があります。これらは主なリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

### <ETFの投資にかかる一般的な留意事項>

- ① 元本保証はされていません。
- ② ETFの一口あたりの純資産額と連動を目指す特定の株価指数等が乖離する可能性があります。
- ③ 市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

### <ETFにかかる手数料・費用について>

ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券の売買の際に発生する手数料、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、上限を示すことができません。当掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により予告なく変更されることがあります。

"SPDR®"は、Standard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」)の登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。また、"Standard & Poor's®"、"S&P®"、"SPDR®"および"S&P500®"は、S&Pの登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。S&Pまたはその関係会社は、ステート・ストリート・コーポレーションまたはその関係会社が提供するいかなる金融商品のスポンサーではなく、これらの商品の内容に関する保証・販売・宣伝もしていません。またS&Pは、これらの商品への投資の適否に関して、いかなる意見表明もしていません。

その他のインデックス、登録商標に関しては、各会社及びその関係会社に帰属し、ステート・ストリートが特定の目的で使用許諾を得ています。本資料のETFの合法性や適合性について、インデックスあるいは登録商標の帰属する各会社及びその関係会社は、何ら判断を下していません。また、発行・後援・裏書・販売・宣伝されていません。インデックスあるいは登録商標の帰属する各会社及びその関係会社は、ETFに関していかなる保証も責任も負いません。また、ETFの資産運用や販売にしていかなる責任も負いませんし、管理運営に携わることもありません。

※購入のお申し込み当たっては、必ず上場有価証券等書面又はその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

※購入のお申込や売買手数料等につきましては、取扱いの金融商品取引業者(証券会社)までお問い合わせ下さい。

本資料の記載内容は2013年1月時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

© 2013年ステート・ストリート・コーポレーション - 無断複写・転載を禁じます。